

夏休みも終わり2学期が始まりました。

夏季休業中にはオープン・ハイスクールで中学生を丁寧にもてなしてくれた生徒の皆さんや、農業クラブや家庭クラブの大会で立派に発表してくれた皆さん、「さよたまふれみあむ」を開発して卵かけご飯定食を販売して神戸新聞に取り上げられたり、部活動でも人数が少ないながらも熱心に取り組んでくれたり、皆さんの頑張っている姿からたくさん刺激を得て感動することができました。ありがとう。

さて、今日は「おまえはなぜ、三階を建てんのだ」と言った本末を知らない愚かな人の話をします。

愚かな人が、友人の建てた三階建ての新築落成式に招かれていきました。田舎には珍しい、三階建ての広くて大きな建物に、彼はまず驚きました。友人は、なによりも、三階からのすばらしい展望を自慢しました。彼も、その窓からの見晴らしの景色に驚きました。

そこで彼は、こんな展望のよい家を、自分もぜひ建てたいと思って、さっそく、村の大工を呼んで依頼しました。「大至急、三階建ての家を建ててくれ」彼は、親の資産を受け継いで、村一番の大富豪だったので、金にいとめをつけませんでした。また、彼はせっかちな男でした。

もうそろそろ完成しただろうと思って、ある日、建築現場に行ってみたところ、大勢の大工たちが基礎工事に、大地を深く掘り起こしていました。

それをみた彼は、大工連中を集めて叱りつけました。「おまえたちはいったい、何をしているのだ。オレがあれほど、展望の良い三階建てを建ててくれと言っておいたのに、地下を掘って何をするのだ」

恐縮しながら大工の親方である棟梁が答えました。「それにはなんといっても、しっかりした基礎が大事で、ここに十分力をいれておかないと三階が狂ってしまうので……、これから一階、二階と徐々に仕事を進めるつもりでいます……」

すると彼は、大きな声でどなりました。「オレはおまえらに、一階や二階を建てよと、頼んだことはない。オレは三階だけでよいのだ。それなのに、おまえたちは、なぜ三階を建てんのだ」それを聞いた大工たちは、クスクス顔を見合わせて笑った。という話があります。

基礎を無視して三階の展望のみを求め、求められなくて、嘆き、悲しみ、怒っている人が、いかに多いことか。と思います。

この話を聞いて、この人は愚かな人だと思うでしょう。自分は違うと思うでしょう。

この話は、基礎基本を軽視すれば、目的達成はありえないことを伝えていきます。求める目的が高いほど、基礎基本が重要であることを伝えていきます。

三階建てを建てるためには、一階建てを建てるよりも、二階建てを建てるよりも、もっとしっかりとした基礎が必要になります。地下をしっかりと掘って、より頑丈にする必要があることは、考えればわかることです。高い建物ほど、その下の積み重ねとなる基礎が頑丈でなくてはならないのは当然です。

勉強においても運動においても、基礎基本が大事です。頭ではわかっているも、華やかな結果ばかりを求めていないでしょうか。求める目的に見合った、その下の基礎は大丈夫でしょうか。一見無駄にも思えることもあるかもしれませんが、基礎基本を身に着ける努力をしているのでしょうか。

オリンピックで金メダルを獲ったり、部活動で全国優勝した人たちも華やかなだけでなく、それまでにどんな基礎基本をしっかりとて、諦めずに努力をしたかを、考えなくてはなりません。

目標や目的が高いほど、基礎基本の徹底が大切です。

部活動においても、野球部であればキャッチボールでしょう。放送部であれば発声練習でしょう。基礎基本をしっかりと大事にして、目標に向かって欲しいと思います。

3年生は、いよいよ就職試験や大学入試の出願が始まります。推薦書や調査書は校長名で発行しますので、担任の先生の書かれた文章をひとり一人読ませて頂いています。皆さんの1年生からの成績や、頑張っている部分がたくさん書いてありますので、頑張っていて欲しいと思います。

2学期は、たくさんの学校行事もあります。まだまだ暑い日が続きますが、自分だけでなく仲間の命も大切に思いやりのある行動をして、新たなことにもどんどんチャレンジしてください。

辛いことや困ったこと、不安や悩みがあれば、担任の先生に相談したり、今日から本校で開設します「心のサポート相談窓口」を利用してください。

文部科学大臣のあべ俊子さんから「中学生・高校生のみなさんへ」というメッセージのプリントが配布されて、担任先生から説明があるかと思いません。

嬉しいことや悲しいことがあれば、いつでも校長室に話に来てください。頑張る人を、心から応援したいと思います。